

児童会が運動会の練習と並行して「人のことを知ろう」という運動に取り組んでいる。素敵な名前だなと思った。この運動は、「人を大切にしよう」という願いに続く▼日常のふとした会話から人の新しい側面が見えることがある。何かをきっかけに人と出会うこともある。人と正対した時、肯定的に受け入れられるかということが試される▼必要なのは、「場」と「時間」である。行事は学校の中でも「非日常」である。いつもとは異なる集団で活動したり、行事に向けて作られた集団の中で活動したりする。その活動の中で、「コミュニケーション能力」を磨き高めながら結果として「人のことを知る」▼運動会は、絶好の機会。特に異年齢集団（縦割り班活動）は学年を超えて「人」と接し知る機会である。来週の運動会、日常の清掃活動、20分休みの遊び、阿下喜小学校は「異年齢集団活動」を大切に位置づけている▼考えてみれば社会生活は異年齢集団活動である。小学校では、5歳の差は大きいが社会に出れば、5つの差は、「誤差」である▼ところで、「人を大切にする」具体的にどういうことなのだろう。1つ挙げるとすれば、「名前を呼んであいさつをする・はなしかける」ことではないかと思う。生まれて一番最初にもらった親からのプレゼント。そんな「人の名前」を大切にしたい。今日は話が大きく逸れた。運動会は雨で明日に延びた。